

# VissQ LU301

## 有線LAN地震計[記録部]



## 建物地震観測用記録ユニット

LU301は、建物地震観測システム「有線LAN地震計」の記録部です。建物地震観測システムは、記録部LU301とA/Dコンバータを内蔵したセンサ部（別売）とで構成します。1台のLU301に対して最大15台のセンサ部を接続することができます。

### 特長

#### ▶ 複数センサ間で時刻同期した計測

記録部を介して、複数のセンサ部が時刻同期<sup>※1</sup>しますので、高い精度で同期した地震観測を行うことが可能です。

#### ▶ センサ部は用途に応じて選択可能

センサ部として、標準のSU201のほか、微小振動まで計測可能なSU501を用意しました。  
また、SU201、SU501のそれぞれには、防滴タイプもあるため目的や設置環境に応じてお選びいただけます。

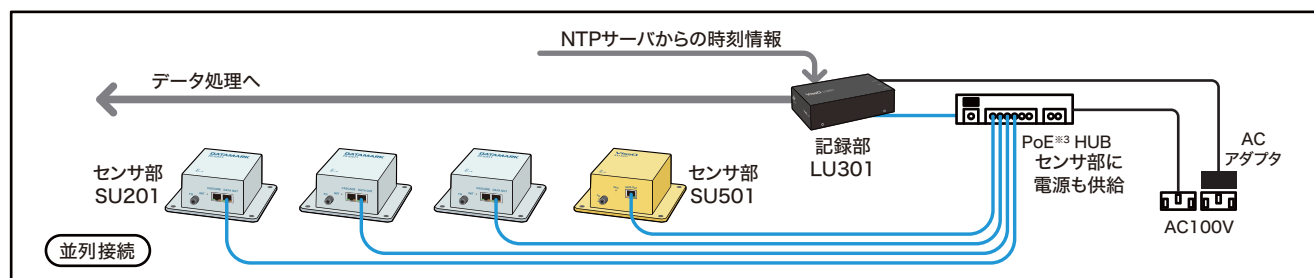
#### ▶ 建物地震観測に余裕の記録容量

十分な容量のストレージを内蔵しました。例えば15台のSU501を接続したシステムで、6000回以上<sup>※2</sup>の地震記録が可能です。

#### ▶ Webブラウザで設定やデータアクセスが容易



Webブラウザでネットワークを経由してLU301に接続し、各種設定や状態確認、計測した地震波形の確認やデータのダウンロードなどが行えます。



※1 各センサ部は本機を介した同期が可能ですが、さらに絶対時刻精度が必要な場合は、本機がNTPサーバと同期する必要があります。

※2 地震記録数はセンサー数などの条件によって変わります。

※3 PoE (Power over Ethernet) は、Ethernetの配線ケーブル (カテゴリ5以上のツイストペアケーブル) を利用して電力を供給する技術 (IEEE802.3af規格)

## ▼主な仕様

記録部 LU301		
センサ部接続台数	最大15台	
トリガ	トリガセンサ台数	最大15台
	トリガ論理	センサ間OR/AND、センサ内OR
	プリトリガ時間	1～99秒
	ポストトリガ時間	1～99秒
	トリガ継続時間	1～30秒
	トリガレベル	0～980Gal、1Gal単位
通信プロトコル	HTTP・FTP・NTP	
CPU	ARM Cortex-A8	
メモリ	512MByte	
通信インターフェイス	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	
内蔵ストレージ	120GByte	
電源	DC12V ± 10%	
消費電力	Max 6.42W (AC100V)	
スイッチ	INIT	
表示・警告	ステータスLED ×3、電源LED ×1、LANアクセスLED	
動作環境	温度	-20～40℃
	湿度	20～90%Rh (結露しないこと)
寸法・重量	81×144.5×39.2mm・460g	
本体材質	SECC	
防水性	なし	

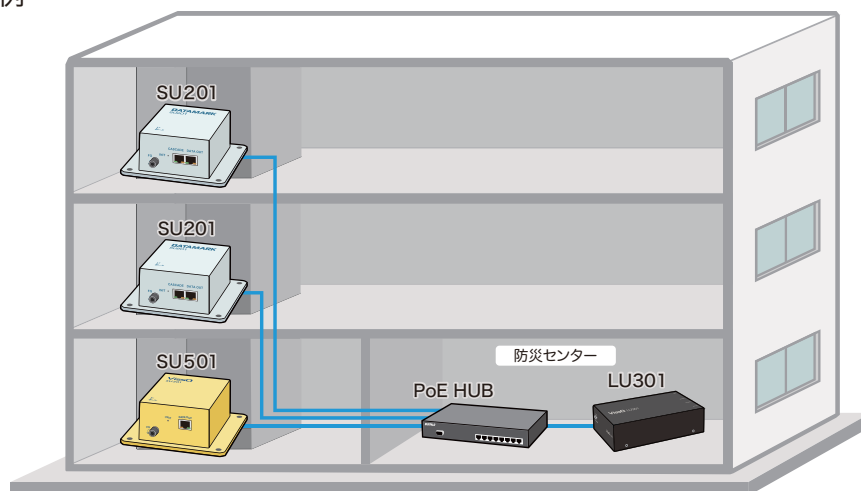
## [注意]

- ・計測に絶対時刻の精度が必要な場合には、別途NTPサーバが必要です。
- ・LU301は有線LAN地震計の記録部です。システム構築にはセンサ部が必要になります。

## ▼標準付属品

ACアダプタ、ゴム足、CD-R (ユーザーズマニュアル)、保証書

## ▼システム構成例



※図は概要を示すため、省略して描かれています。

ご不明点・ご質問は担当営業またはサポートにお問い合わせください。

- 注)本機を正しくより安全にご使用いただくため、ご使用の際には必ず「取扱説明書」または注意書きをよくお読みください。  
 ※ VissQは白山工業株式会社の登録商標です。その他の商標、登録商標は各所有者に帰属します。  
 ※ このカタログに記載された仕様・デザインは予告なしに変更することがあります。  
 ※ このカタログの記載内容は2018年10月3日現在のものです。

## 白山工業株式会社

〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 Jタワー10F  
 TEL. 042-333-0080 FAX. 042-333-0096  
 URL: <http://www.hakusan.co.jp/>  
 E-mail: [support@hakusan.co.jp](mailto:support@hakusan.co.jp)

## ■お問い合わせは…